



サフラン便り

第44号 22年4月15日発行

発行：佐賀県薬剤師会女性薬部会
佐賀市本庄町大字本庄 1269-1
TEL:0952-23-8931 FAX:0952-23-8941
<http://www.sagayaku.or.jp/josei/index.html>

<診療ガイドライン薬剤コース スクーリング 研修会報告>

日時：2月21日(日) 9:00~14:40

場所：県薬剤師会館 2階研修ホール

講義内容

- ①「小児の中耳炎」 森川耳鼻科医院院長 森川郁郎先生
- ②「前立腺肥大症とその周辺領域の内服薬治療」 横尾クリニック院長 横尾大輔先生
- ③「禁煙治療の実際」 貝原医院院長 貝原良太先生
- ④「食物アレルギー：診療ガイドラインと最近のトピックスについて」
佐賀社会保険病院 小児科 西 奈津子先生



感想

(森川先生へ)

・中耳炎のお話以外にも、解説頂き興味深く聴講できました。・小児の中耳炎に鼻が関与していた事を改めて認識しました。・抗生剤の投与量や、抗アレルギー剤の選択方法について、納得しました。疑義紹介の判断材料になる内容は勉強になります。・鼓室内チューブの留置術についての知識を持つことができ、ありがたく思います。

(横尾先生へ)

・Dr.の説明の後の、薬剤師の重説が、患者への理解に繋がるという点に薬剤師の役割を感じました。・、プロロッカーの説明が理解し易く、充実した講義でした。・解剖学的な内容は、更に勉強になりました。・血圧、水分摂取、排尿の関連は、早速服薬指導に活用させていただきます。

(貝原先生へ)

・禁煙指導の講義は、なかなか聴講の機会がないので、興味深い講義でした。・身近な喫煙者にも、禁煙治療を勧めたいと思いました。・もっと、あちこちで、この禁煙講座を多く取り上げて頂きたいと思いました。・禁煙経験のある先生の立場から、治療中の患者の気持ち、行動をリアルに感じる事ができ、治療成功への指導や助言を把握できました。・禁煙をお勧めしてもなかなか受け入れて頂けず苦戦しておりました。先生の軽妙なお話が楽しく楽な気持ちになりました。参考にさせていただきます。

(西先生へ)

・丁寧で、理解しやすく、充実した講義でした。・最近TVで減感作療法の実際を見た後だった事もあり、興味深い講義でした。佐賀でも対応できる機関が出来ればと思います。・緊急時の対応が理解できました。・治療のみならず、日常でも役立つお話でした。

2.セミナーに対するご意見

・講義が面白く驚きました。(初参加)

・現場のDr.のお話は、臨床例を含み、具体的で理解しやすく有意義でした。

・Dr.側から薬剤師への要望もお伝え頂きたいと思いました。

・会場が寒かったです。・身近な講義内容は、現場に活かせるので、有意義なセミナーでした。

・適切な講師選びありがとうございます。・明日から早速仕事に活かします。

・県薬の他の研修会もこの様な内容だと参加したくなりますが・・・女薬に拍手

・講師の先生方がすばらしく、男性薬剤師にももっと参加しやすい広報をお願いしたい。

・お弁当が有料なのが残念です。・4講座だと終了時間が早く助かりました。



22年度の診療ガイドライン薬剤コースをご希望される方は、お知らせください。申し込みできます。本年度第1回スクーリングイ研修会は8月に予定しています。

<ちょっと一言>

三寒四温のこの時期は、心身のコントロールの大切さを感じます。
最近、電車の中から聞こえてくる会話に考えさせられることがありました。
A 夫人は病院での検査が多いと不満、B 夫人はDr.から異常ないから来なくてよいと言われ、レントゲンさえも撮ってくれないと不満。さて、「良い」Dr.とは、自分の要求を満たしてくれる人であるらしく、本質を見る心の目が違うのかと感じました。
私は、「どうでも良い」薬剤師と言われぬように精進せねば・・・。(島田)

<薬局窓口でピンとくる。役立つ本の紹介>

通院でケアする！「アルコール依存症の早期発見とケアの仕方」

著者：世良守行（慈友クリニック理事・看護師） 発行所：日東書院

日本アルコール看護研究会会長・日本アルコール関連問題学会理事

飲酒運転が法的に厳しくなったにもかかわらず依然として、止まない飲酒による事故。飲酒運転者の半数はアルコール依存症であるという衝撃的な話から始まります。

「アルコール依存症だと認識することから一歩が始まる！！」、「アルコール依存症は外来で治せる」という従来にはないスタンスで書かれています。読みながら、まさに私は飲酒というものを正しく理解していなかったのではと思いました。「百薬の長」として親しまれていたアルコールに対しては大らかな風潮のある日本において、D・Vと同じくアルコール依存症は見えにくい厳しい現状があります。この本には患者さんや家族の訴えに共感できる要素がたくさん書いてあります。また、依存症の初期症状や断酒での離脱症状の対処方法など知っておいたらきっと役に立つ内容盛りだくさんです。是非読んでみてください。ご要望の方は、県薬事務局女性薬部会担当まで1割引です。(定価1400円+税)(宮地)



<佐賀県女性薬剤師会の歴史>

会史投稿文より(その6)

元佐賀県薬剤師会副会長 宮地信子

女性薬の講習会もその都度若い人達の参加が増えてきております。その現況を報告します。昭和53年度、講習会出席状況：女性薬剤師数266人、案内状発送255人電話連絡25人返信有り126人(50%)返信無し124人(50%)戻り5人出席者56人(21%)欠席者81人。女性薬の設立主旨の一つに薬剤師としての知識の研鑽があげられており、設立当初より故秋島ミヨ日女薬会長は常々「薬剤師の社会的地位向上を計るには何より先ず他に先んじて薬学の新知識を吸収しなければならない。」と専門知識の習得の為に日々のたゆまない研鑽があるのみと終始一貫勉学の必要性を説いてその具現化を卒後教育の形で浸透を計られた。会長自身も現在必要とし、求められる最新の医療と薬学は何であるかを知るべく情報の収集に力を注ぎ、厚生省歴訪、医学薬学教授との懇談等をして、医療に関する最新の動向を探られていた。

WLN (Women Leader Network) 会合に発表する為のアンケート ご協力ありがとうございました。

これは日本女性薬剤師会が外国の女性リーダーの方々に、日本の薬剤師の現状を伝えるためのものです。それと同時に、めまぐるしく変わっていく医療現場の中で、薬剤師会の支援方法も変わっていくと思われまます。薬剤師の現場の声を集め、男女共同参画社会の推進につなげ、これからの女性薬剤師部会の事業の方向性を見つける意識調査と位置付けています。200枚を超えるアンケートをいただき、佐賀県独自の分析並びに全国の結果も合わせて皆さまにご報告したいと思っています。
ありがとうございました。(宮地)